



関ロータークラブ

RI会長 / バリー・ラシン

2018-19年度 国際ロータリーテーマ

インスピレーションになろう "Be The Inspiration"

53代会長 / 加藤浩二

2018-19年度 関ロータークラブ会長テーマ

行動しよう! 情熱を持って

会長 加藤 浩二

副会長 大岩寿喜子

幹事 林 昇

D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT

Rotary



本日のプログラム 第 2540 回例会 2019 年 4 月 23 日 (火)

「メーカーシップについて」 パスト会長 林隆一さん



前例会の記録・第 2539 回 4 月 16 日(火)12:30

『地区研修協議会の報告』

岩本雅文さん・大澤竜一さん

◆開会点鐘

◆「それでこそロータリー」斉唱

◆会長挨拶



本日は、以前スリランカ支援事業と、2月26日の卓話でお越しいただいたカンカーニゲ・エランガさんがスリランカ支援事業のお礼で関ロータークラブの為に腕を振るって母国スリランカカレーを皆さんにご賞味頂くため、作っていただきました。本場のスリランカカレー

です。そして本場のセイロンティーもご賞味いただけます。本日の例会食、楽しみにしてください。

そしてさらに、スリランカ支援事業の1弾目の救急車寄贈事業と第2弾の消防車、広報車寄贈事業に対し、関RCはスリランカでの贈呈式にお招きをいただきました。スリランカに到着後、空港から国賓扱いで、白バイ隊員先導でスリランカ政府主催の贈呈式に出席できるそうです。大変名誉な事であり普通では体験できない事です。その贈呈式にご参加いただける方は7月に行く予定ですので是非お願いします。先日、贈った消防車は、もちろん災害時使用目的ですが、スリランカの田舎では未だ救急車が少なく、大怪我や事故、母親の出産時の出勤が多く、助かる命も助からないのが現状だそうです。もっと多くの救急車を増やしたいとの事でした。そんな母国を思い活動してみえる、エランガさんはまさしくスリランカのスーパーウーマンでございます。おそらく今後も生涯母国を思い母国の為に活動される事でしょう。是非これからも頑張ってください。

さて、日本においても時代とともに女性の働く環境が変わってきております。昭和時代とは異なり明

らかに働く環境内の差別は無くなってきています。ご記憶あるでしょうか、平成元年に流行語大賞を受賞したのはセクハラです。職場で女性社員に体に触れたり、性的な話題の話をしようが問題なかった昭和の時代は終わりを告げ、男女雇用機会均等法が施行され、昭和から平成にかけ女性差別が大きく変化しました。昭和の終わり、バブル全盛期、肉食男子は際立った女性をものにしようとアッシー、メッシー、ミツグくんと言って魅力ある女性に男が使われ始めます。昭和から平成に変わり地位を維持した女性に使われる男性が増えると男性も肉食男子から草食系男子に変わって行きました。身近な所でも女性の活躍をしみじみと感じます。新たな令和の時代は更に女性が男性と対等になる事でしょう、男性の皆様、新たな時代ではもっと頑張りましょう。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員長 福田春彦

会員 49 名中 出席 24 名 出席率 50.00%

◎ニコボックス委員会 委員 土屋佳久

会長・副会長・幹事の皆さん・・・カンカーニゲ・エランガ様スリランカ料理を例会食として提供いただきありがとうございます。今後もスリランカと日本の懸け橋としてご活躍されますことを祈念しております。先週末の地区研修協議会ご参加の皆様、大変ご苦勞様でした。報告者の岩本さん、大澤さんよろしく申し上げます。

清水(公)、清水(善)、後藤、木村、酒向(徳)、堀部、西田、土屋、尾崎、古田、山田、福田の皆さん・・・先日の地区研修、協議会に出席いただきました皆様、ご苦勞様でございました。岩本さん、大澤さんご報告よろしく申し上げます。尚、来年は高山にて開催されますので、宿泊のご準備のうえ、出席をお待ちしております。

早川力さん・・・誕生日にバースデーカードをいただきありがとうございます。体力低下により、災害支援活動、河川清掃等の奉仕活動に参加できず残

念です。

古田貴巳さん・・・バースデーカードをありがとうございました。

◆「地区研修協議会の報告」 岩本雅文さん



4月14日(日)に三重県津市文化センターにて行われた「国際ロータリー第2630地区2019年地区研修・協議会」に土屋、加藤、木村、酒向(徳)、大澤、西本、尾崎、岩本の8名にて参加してきました。2019～ガバナー辻正敏氏点鐘から始まり、ホストクラブ会長の歓迎挨拶等々後、

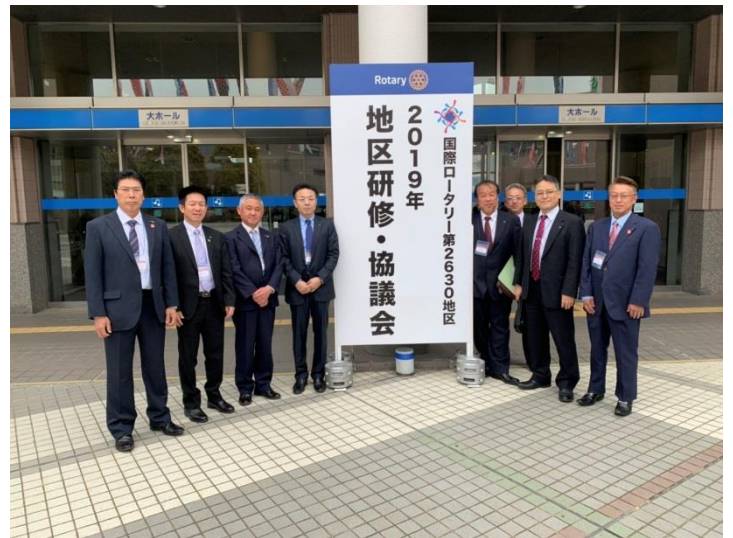
(会長エレクト AG CC 担当 劔田ガバナーノミニ一)と(一般? 担当 辻ガバナーエレクト)に分かれ、セッションが行われました。私は、一般?の方で辻エレクトの「次期 RI テーマと地区活動方針」の講話を受けました。国際ロータリー会長マーク・ダニエル・マローニーさんのテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」が前々回、前回のテーマとどう関わり、辻エレクトのテーマ「総天然色」に繋がるのかを、ユーモアを交え、楽しく力強く訴えられました。最も印象的だったのは、国際ロータリーの流れが、根幹であった「職業奉仕」理念を捨ててしまったと言われているが、先般の世界ロータリー参加の折のマローニー氏の話の中身では、職業の大切さは何も変わっていない、ただ一つ一つが完結して次や周りとの係るのではなく、仕事・家族・ロータリー活動が常に係わり合いながら変化し、自ら発信したり周りから見られて評価されたりリーダーシップというインスピレーションを感じてもらおうのでしょうか。というようなお話です。そういうことが、会員増強にも繋がるのでしょうか、単に数や大きさを求めるのではなく、持続性を持って成長するということになるのでしょうか。よって、形を決めて進むのではなく、各クラブが独自の、(家族・地域・仕事・ロータリー活動)のバランスを取り、それぞれの地域・社会にマッチした進み方をすることが、辻エレクトの言われる、「総天然色」の求めるところなのかな。と、感じました。それと最後に、RI 会長はマローニーさんですよ。くれぐれもマローニーちゃんと間違わないように！(辻エレクト曰く)

◆「地区研修協議会の報告」 大澤竜一さん



先に岩本さんが前半部分を報告されましたので、後半部分(分科会)の報告をさせていただきます。加藤会長と私、二人にて、奉仕プロジェクト部門分科会へ参加しました。まず始めに社会奉仕委員会の活動計画等が説明されました。当委員会へは長尾さんが出向されております。今年度は環

境保全活動、自然災害時への対応準備、次世代を担う青少年に芸術、地域文化の経験の付与、要援助高齢者、障害者、青少年への支援を柱に活動されております。特に印象に残ったこととして、私は知りませんでしたが、Hybrid 車の購入時に 5 万円のオプションで 1500W の AC100V コンセントを付けることにより、満タン時、約 48 時間 1500W 使用することが出来る。これは災害時、冷蔵庫、炊飯器、携帯充電など車のコンセントから電気が取ることが出来ます。皆様、Hybrid 車購入時には是非このオプションを選択いただきたく思います。ただし、ベントはダメなようですが。続きまして国際奉仕委員会の活動計画等が説明されました。グローバル補助金事業として、多治見リバーサイド RC、美濃加茂 RC、鈴鹿ベイ RC、3 クラブ合同でのタイの地方学校 88 校に識字図書等の教材支援事業、及び指導する教員指導プログラム事業が報告されました。大変大きな事業でトータル約 900 万円ほどの事業でした。その後、当クラブから加藤会長による WCS 補助金を活用したベトナム奉仕活動の報告がされました。報告前、大変緊張しており、私は報告より、体調を心配しておりました。(笑)時間も当初より短縮されましたが、体調も問題なく大変素晴らしい報告がされました。本来でしたら、当クラブの報告が終わり次第、担当の分科会へ移動の予定でしたが、最前列の席でしたので、このまま居残りしました。堀部さん、ロータリー財団の分科会へ出席出来ず、申し訳ございませんでした。分科会終了後、閉会セレクションが行われ、そして、無事関へ帰ってきました。



◆幹事報告

◎例会終了後「理事、役員会」開催

次例会のご案内 5月14日(火)12:30
「岐阜県に迫る地震とその対策」
岐阜県 防災課 担当:国際奉仕委員会

例 会:毎週火曜日 12:30
例会場:岐阜県関市本町 6-20 大垣共立銀行関支店 2F
事務局:岐阜県関市平和通 7-10-25 アメリカ 2F